

(株)トロムソがリサイクル燃料装置の海外展開を加速

- ① 環境省の都市間連携事業に採択（ベトナム）
- ② 5,900万円の販売契約を締結（ナイジェリア）

広島県では環境浄化産業のクラスターを形成していくため、関連産業の海外展開を支援しています。

その推進組織「ひろしま環境ビジネス推進協議会」メンバーの(株)トロムソ（尾道市、中坂征洋代表取締役社長）が、この度、ベトナム・カントー市における低炭素社会実現に向けた取組を開始するとともに、アフリカ・ナイジェリアでの取組を加速させました。

1 ベトナム・カントー市における低炭素社会実現に向けた取組を開始

平成 29（2017）年に広島県とカントー市との間で環境浄化分野での覚書を締結し、県内企業のビジネスチャンスを探る中、令和元年5月に、**同社提案事業が日本の環境省「平成 31 年度低炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務」に採択**されました。

※ この事業は、カントー市の環境改善と経済発展に貢献するため、同市で大量に発生するもみ殻を活用し、もみ殻の固形燃料製造機械を同市の精米工場が導入することで、再生エネルギーへのシフトの可能性を調査するものです。

※ 本案件が有望であると確認された場合、数億円規模の設備補助案件として環境省へ申請を行い、プロジェクトの実施ステージに移行します。

2 アフリカ・ナイジェリア向けに受注

令和元年6月、同社は**ナイジェリア政府向けに、ODA 無償資金協力「経済社会開発計画」の一環として、もみ殻固形燃料装置 7 台（受注額 59 百万円）の販売契約**を結びました。



もみ殻固形燃料製造装置
“グラインドミル”

※ この事業は、アフリカにおけるもみ殻という未利用の廃棄物に着目し、燃料確保のため木々が伐採され続けるという現地社会課題を解決するもので、JICA 事業や県の補助制度を活用し、UNIDO（国際連合工業開発機構）等との協力を進める中、今回の受注に至ったものです。

※ 今回の受注を皮切りに、アフリカでのもみ殻固形燃料の活用を普及させることで、グラインドミルの受注に結び付けることとしています。

《参考》

◆ (株)トロムソの会社概要

【住 所】 広島県尾道市因島重井町 5265

【資本金】 3,000 千円

【代表者】 代表取締役社長 中坂 征洋（なかさか まさひろ）

【事 業】 もみ殻固形燃料製造装置（グラインドミル）の製造・販売

【装置の概要】

- もみ殻をすり潰し固めることで、化石燃料に代わる燃料を製造する機器。
- 未加工の鉄では 10 時間程で機械が摩耗してしまうもみ殻の加工を、造船業で使用される特殊な金属加工技術を用いて約 200～300 倍の耐用性を実現。

◆ 広島県とベトナム・カントー市との覚書の概要

- 広島県とカントー市は 2013 年から環境浄化分野においてビジネス交流を開始し、2017 年に環境浄化産業分野における協力に関する覚書を締結。
- カントー市は低炭素都市を目指しており、2018 年からマスタープランの策定を行い、対策の実施を計画。
- (株)トロムソの取組は、覚書に基づく協力プロジェクトの一つであり、広島県内企業が有する低炭素化技術をカントー市が導入することで、カントー市における環境改善と経済発展に貢献することを目指している。
- 今年度は、カントー市において事業可能性調査を行うとともに、カントー市の幹部を広島県に招聘し、広島県の CO₂ 削減のための取組を紹介するとともに、CO₂ 削減に関する技術を持つ企業の技術紹介を行う予定。